

## 第2章 景気動向

### 1. 景気動向指数（D I）～平成22年4月の指標～

#### 【経済危機の影響を表す景気動向】

景気動向指数D I（Diffusion Index）とは、生産、在庫、有効求人倍率、百貨店販売額など景気を映し出す経済統計の中から19の指標（国は29）を選び出し、景気指標の変化が3ヶ月前に比べてプラスだった指標数の割合をみるもので、景気の現状把握や将来予測及び景気転換点（景気の山・谷）の判定に資する総合的な景気指標です。

景気動向指数には、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3つの指数があります。

先行指数は、一般的には一致指数に数ヶ月先行することから景気の動きを予知し、遅行指数は一致指数に半年から1年遅行することから景気の転換点や局面の確認に利用されています。

#### ● 三重県で使われている個別系列

##### 【先行系列 6本、（ ）は逆サイクル】

新規求人数、（企業倒産件数）、自動車新規登録台数、新設住宅着工戸数、（鉱工業在庫指数）、銀行貸出平均残高

##### 【一致系列 7本】

鉱工業生産指数、大口電力使用量、輸入通関実績、有効求人倍率、建築着工床面積（鉱工業用）、百貨店販売額、所定外労働時間指数

##### 【遅行系列 6本、（ ）は逆サイクル】

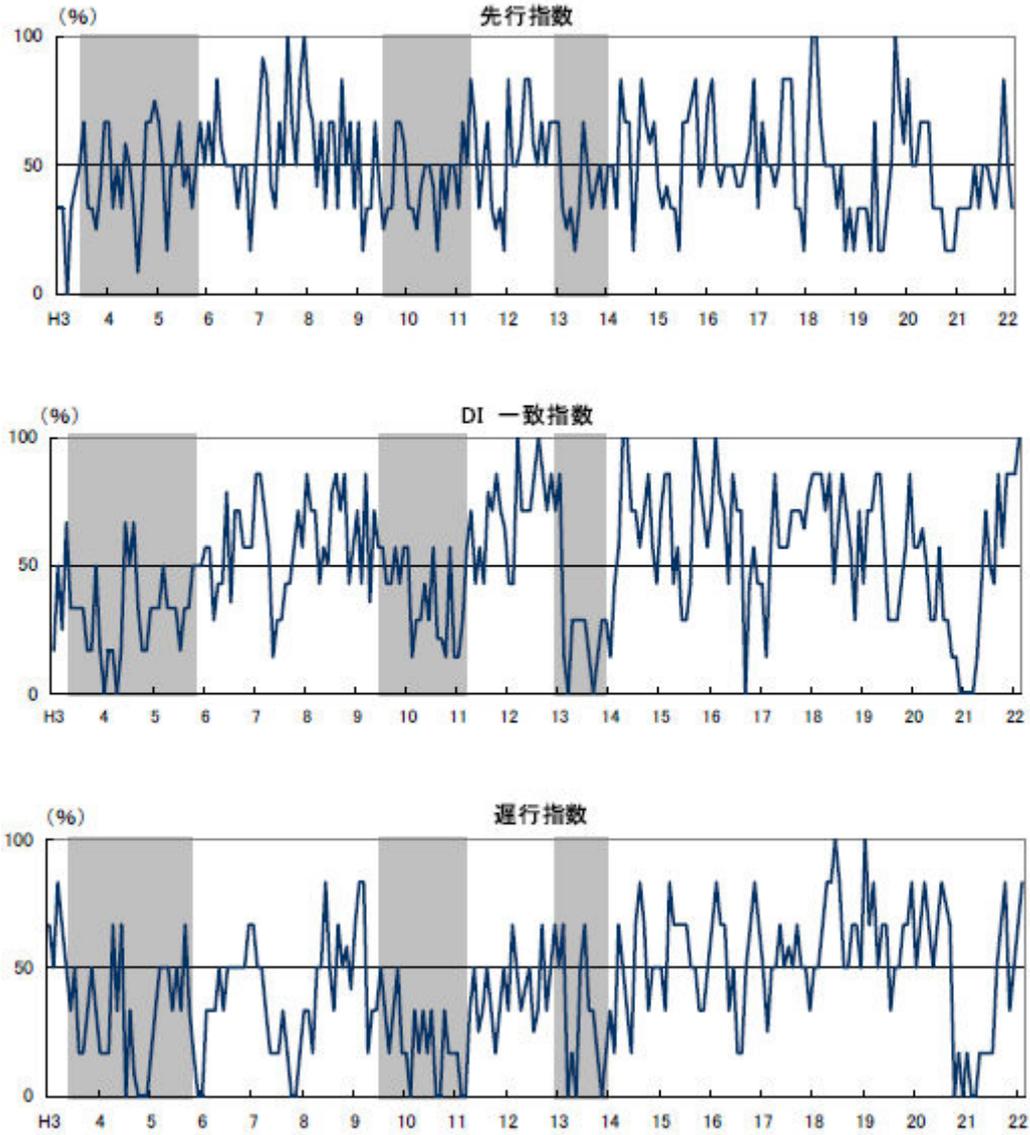
（雇用保険受給者実人員）、常用雇用指数（製造業）、法人事業税調定額、貸出約定平均金利（地銀）、家計消費支出（津市）、消費者物価指数

平成22年4月に公表された県内経済情勢（平成22年2月分）では、一致指数（景気の現状を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを6か月連続で上回り、100.0%となり、先行指数（2月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを4か月ぶりに下回る、33.3%となりました。

#### 【参考：CI 指数】

Composite Index の略で、その時々々の景気変動の大きさ（量感）やテンポを把握することができます。D I は、景気に変化する方向を示すだけで、その時点の景気がどの程度の大きさであり、どんなスピードで進んでいるのか、といったことはわかりません。このために景気の水準を示すために開発されたのがC I です。C I はD I と同じ指標を使い、先行・一致・遅行の三系列があります。D I と違う点は、ある年度の状態を100とし、それ以後は基準年次と比べた増減数値を計算している点です。（三重県は、平成12年=100）

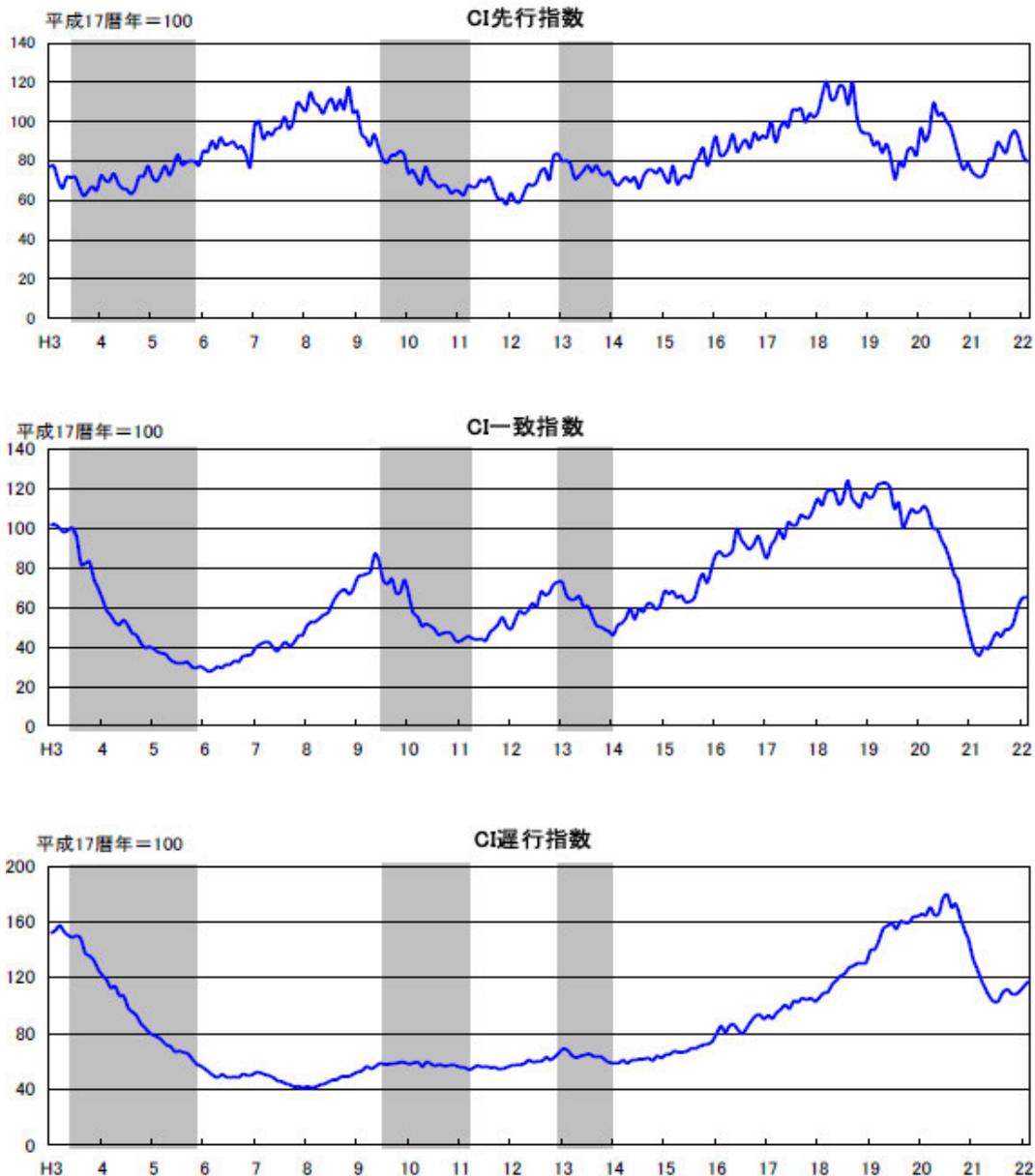
(図8 DIの推移)



(注)シャド一部分は景気後退期を示す。

資料:政策部「三重県内経済情勢」

(図9 CIの推移)

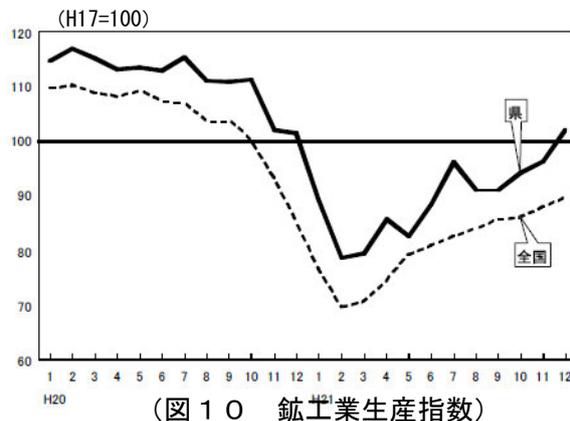


(注)シャドー部分は景気後退期を示す。

資料:政策部「三重県内経済情勢」

## 2. 鉱工業生産指数 ～平成21年～ 【多くの業種で低下傾向】

平成21年における県と国の鉱工業生産指数の推移を見ると、三重県の指数は堅調に推移しており、全期間にわたって全国の指数を上回っています。



(図10 鉱工業生産指数)

平成17年を100とした生産指数と比較すると、平成20年の平均は111.4で対前年比1.6%の低下となりました。

平成20年における業種別の前年対比では情報通信機械工業18.6%、輸送機械工業1.9%、金属製品工業0.1%と上昇する一方、電力・ガス事業▲14.1%、電気機械工業▲13.0%、木材・木製品工業▲12.8%、その他製品工業▲11.7%、家具工業▲10.4%、食料品工業▲9.3%、鉄鋼業▲7.2%、繊維工業▲7.1%、プラスチック製品工業▲5.4%等、多くの業種で低下しました。

(表8 業種別生産指数・対前年増減率)

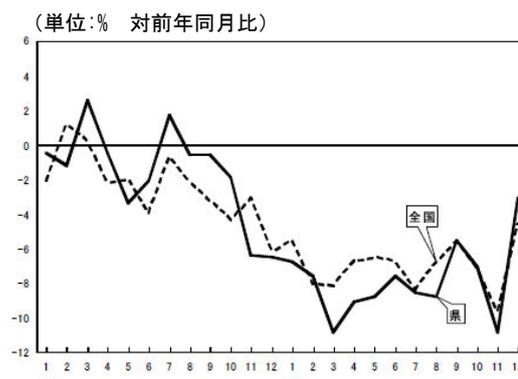
	ウェイト	16年	17年	18年	19年	20年	対前年増減率(%)			
							平成17年=100			
							17年/16年	18年/17年	19年/18年	20年/19年
鉱工業	10000.0	101.9	100.0	105.6	113.2	111.4	▲1.9	5.6	7.2	▲1.6
製造工業	9989.8	101.9	100.0	105.6	113.2	111.4	▲1.9	5.6	7.2	▲1.6
鉄鋼業	128.6	103.0	100.0	88.3	82.8	76.8	▲2.9	▲11.7	▲6.2	▲7.2
非鉄金属工業	312.6	100.4	100.0	102.0	108.3	107.3	▲0.4	2.0	6.2	▲0.9
金属製品工業	420.7	119.1	100.0	94.5	79.9	80.0	▲16.0	▲5.5	▲15.4	0.1
一般機械工業	1009.6	93.5	100.0	99.1	144.3	141.3	7.0	▲0.9	45.6	▲2.1
電気機械工業(旧分類)	2656.9	107.8	100.0	116.0	122.1	121.1	▲7.2	16.0	5.3	▲0.8
電気機械工業	820.0	150.3	100.0	100.5	103.1	89.7	▲33.5	0.5	2.6	▲13.0
情報通信機械工業	408.2	94.8	100.0	104.3	125.6	148.9	5.5	4.3	20.4	18.6
電子部品・デバイス工業	1428.7	87.1	100.0	128.3	132.0	131.2	14.8	28.3	2.9	▲0.6
輸送機械工業	1998.5	97.8	100.0	105.9	103.7	105.7	2.2	5.9	▲2.1	1.9
窯業・土石製品工業	607.8	99.9	100.0	100.6	119.9	117.4	0.1	0.6	19.2	▲2.1
化学工業	1066.3	100.1	100.0	94.6	88.6	88.0	▲0.1	▲5.4	▲6.3	▲0.7
石油・石炭製品工業	126.5	95.8	100.0	94.9	101.0	98.0	4.4	▲5.1	6.4	▲3.0
プラスチック製品工業	389.6	105.3	100.0	131.9	159.1	150.5	▲5.0	31.9	20.6	▲5.4
パルプ・紙・紙加工品工業	155.9	98.6	100.0	98.6	100.7	99.2	1.4	▲1.4	2.1	▲1.5
繊維工業	83.9	105.9	100.0	103.3	100.7	93.5	▲5.6	3.3	▲2.5	▲7.1
食料品工業	514.8	104.7	100.0	101.7	118.7	107.7	▲4.5	1.7	16.7	▲9.3
その他の工業	518.1	93.0	100.0	96.7	93.4	87.4	7.5	▲3.3	▲3.4	▲6.4
ゴム製品工業	276.7	95.4	100.0	106.0	106.0	102.8	4.8	6.0	0.0	▲3.0
家具工業	55.9	97.3	100.0	98.3	106.8	95.7	2.8	▲1.7	8.6	▲10.4
木材・木製品工業	56.6	100.9	100.0	95.3	98.1	85.5	▲0.9	▲4.7	2.9	▲12.8
その他製品工業	128.9	82.6	100.0	76.4	58.3	51.5	21.1	▲23.6	▲23.7	▲11.7
鉱業	10.2	106.5	100.0	99.3	106.5	105.6	▲6.1	▲0.7	7.3	▲0.8
電力・ガス事業	640.3	96.6	100.0	104.9	111.5	95.8	3.5	4.9	6.3	▲14.1
産業総合	10640.3	101.6	100.0	105.5	113.1	110.5	▲1.6	5.5	7.2	▲2.3

資料：政策部「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」

### 3. 大型小売店販売額

#### 【伸び悩む大型小売店販売額】

県内の大型小売店販売額(既存店調整値)を見ると、平成20年の7月に一時的な回復を見せるも、その後大きく落ち込んでおり、厳しい状況が続いています。



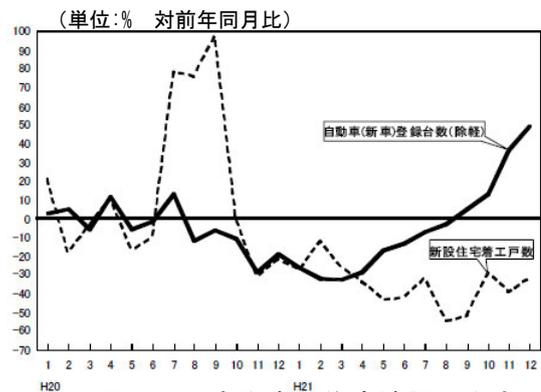
(図11 大型小売店販売額の推移)

#### 4. 新車登録台数・新設住宅建設戸数

##### 【減少傾向にある新車登録台数】

自動車（新車）の登録台数（対前年同月比）の推移をみると、平成21年は9月以降、前年同月を上回ったものの、年平均で△9.1%と平成20年（△5.4%）に続き減少傾向にあります。

平成21年の新設住宅着工戸数については、大幅な落ち込みが続いており、年平均では36.6%のマイナスとなりました。



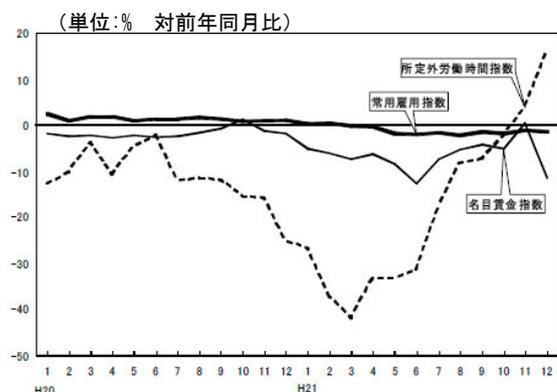
(図12 自動車と住宅建設の動き)

#### 5. 所定外労働時間・常用雇用指数

##### 【後半はプラスに転じた所定外労働時間】

所定外労働時間（5人以上）は、一般的に景気が悪く（良く）なれば人員整理（新規増員）をする前に、まず、所定外労働時間の減（増）によって対応することが多いといわれています。平成21年の推移をみると、前年同月比は11月からプラスに転じています。

常用雇用指数は事業所によって雇われている人の数（パートタイム労働者含む）を基準年で指数化したもので、常用とは①期間を特に定めないか、1カ月を超える期間を定めて雇われている、②日々または1カ月以内の期間を限って雇われており、前2カ月にそれぞれ18日以上雇われた、のいずれかに該当する場合を言います。平成21年の前年同月比の推移をみると、3月以降、微減傾向にあり、年平均でみると1.1%のマイナスとなりました。



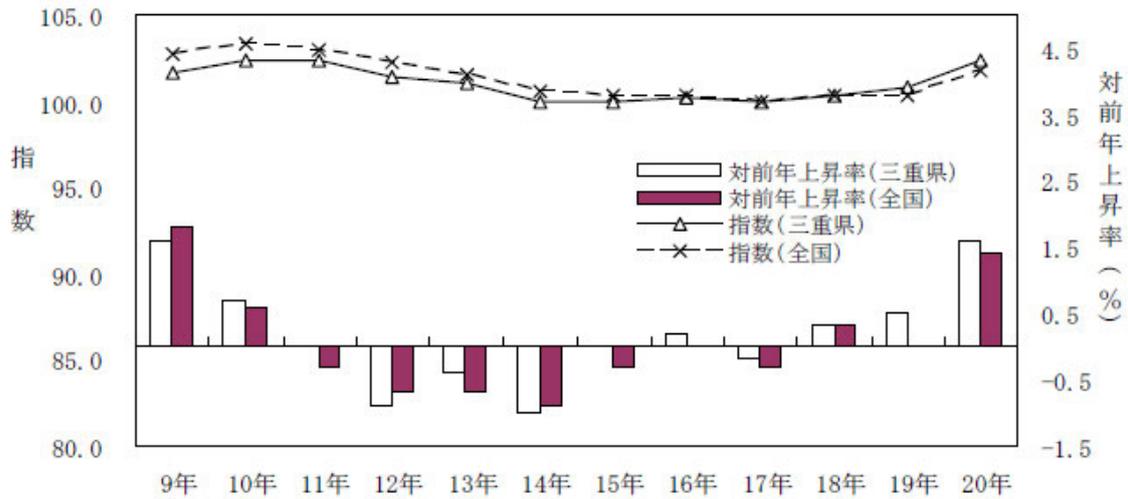
(図13 雇用情勢)

#### 6. 消費者物価指数

##### 【上昇基調にある消費者物価指数】

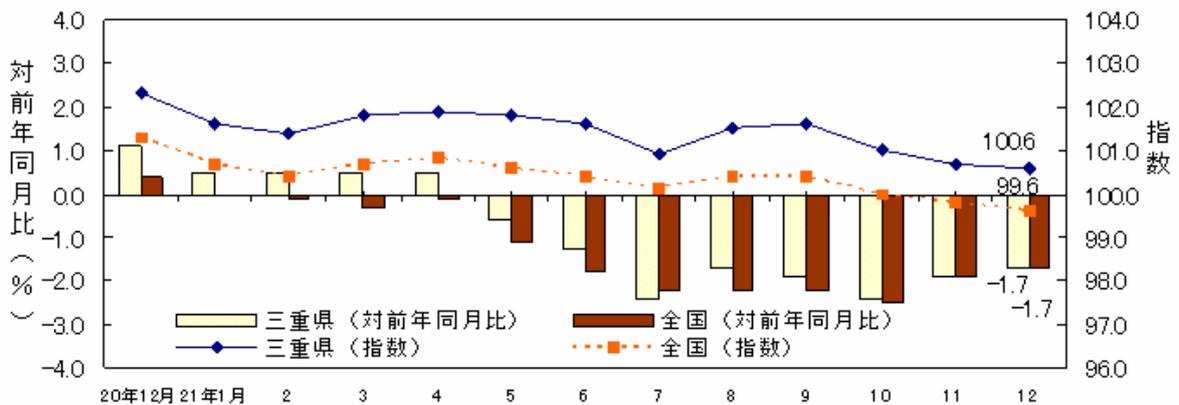
平成15年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数でみると、平成17年を除き毎年上昇しています。

総合指数の全国平均との比較では、平成15年から平成16年までは三重県が下回りましたが、平成17年、18年で同指数に、また、平成19年からは全国平均を上回っています。平成20年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で102.4となり、前年に比べ1.6ポイントの上昇でした。



(図1.4 消費者物価指数及び対前年上昇率 資料：政策部「三重県消費者物価指数の動向」)

消費者物価指数 -総合- (平成17年=100)



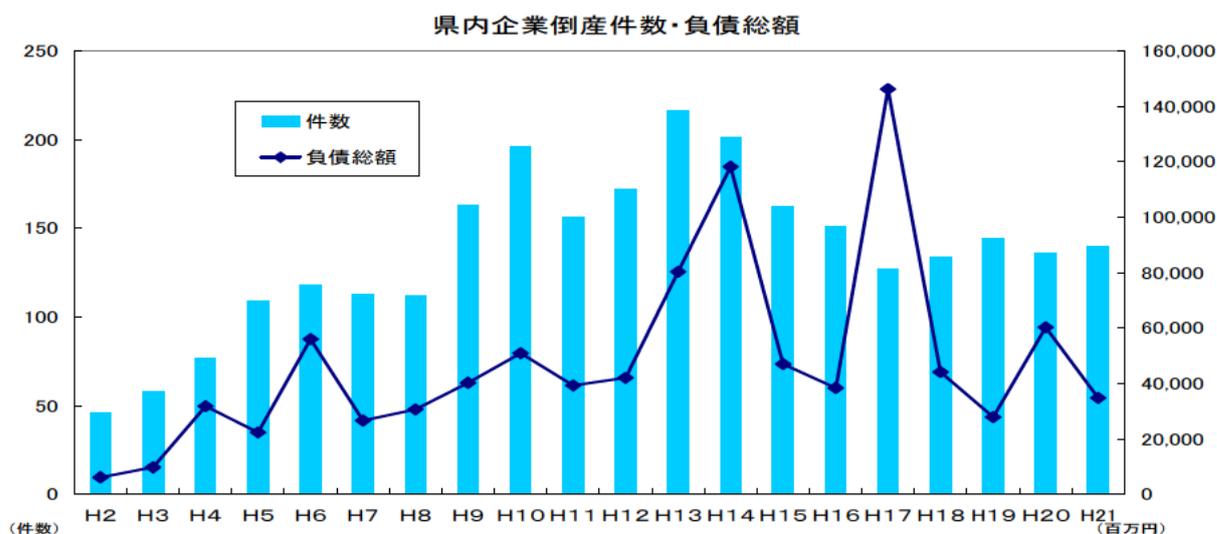
(図1.5 消費者物価指数-総合-)

資料：政策部「消費者物価の動き」

## 7. 県内の企業倒産概況

### 【増加に転じた倒産件数】

平成2年から21年12月までの企業倒産の推移をみると、17年は大型倒産が相次いだことなどから、倒産件数が少ないにもかかわらず負債総額が大幅な増加に転じました。それ以降、負債総額は減少傾向ですが、倒産件数は微増しました。



(図16 県内の倒産件数・負債総額の推移) 資料：東京商工リサーチ「企業倒産月報」

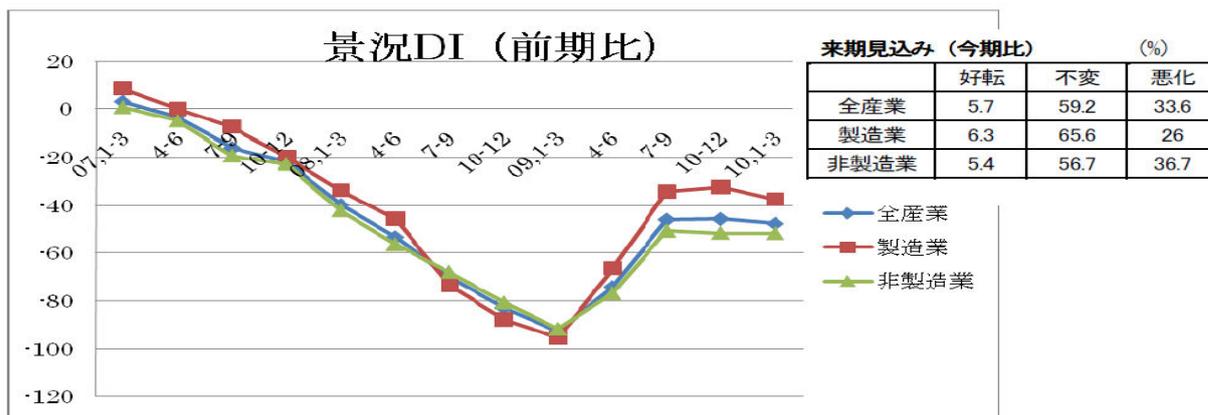
(表9 県内の倒産件数・負債総額の推移)

年	H2	H3	H4	H5	H6
件数	46	58	77	109	118
負債総額(百万円)	6,069	9,711	31,754	22,307	56,010
年	H7	H8	H9	H10	H11
件数	113	112	163	196	156
負債総額(百万円)	26,598	30,601	40,219	50,917	39,278
年	H12	H13	H14	H15	H16
件数	172	216	201	162	151
負債総額(百万円)	41,995	80,327	118,223	46,966	38,404
年	H17	H18	H19	H20	H21
件数	127	134	144	136	140
負債総額(百万円)	146,279	44,121	27,840	60,224	34,755

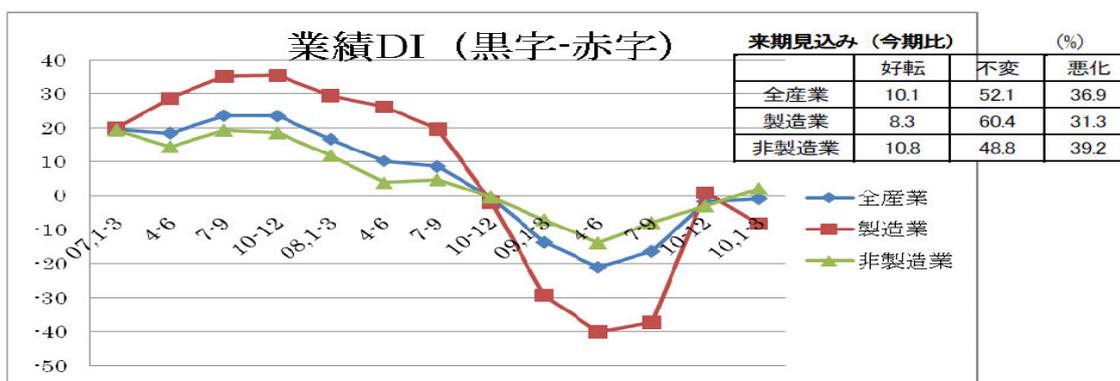
## 8. 景況感～直近の景況調査結果から～

### 【厳しい経済情勢を反映する景況感】

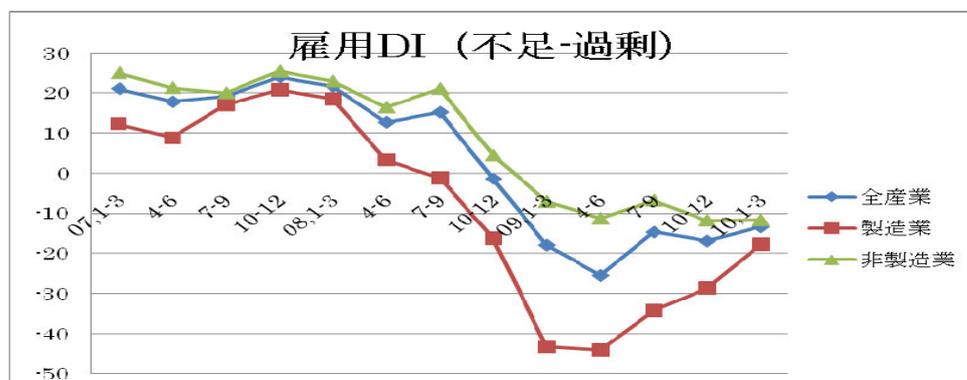
2007年第Ⅰ期から2010年第Ⅰ期までの景況感、業績、雇用の各DIの推移をみると、製造業、非製造業ともに景況感は8期連続のマイナス、業績、雇用は概ね横ばいで推移していましたが、世界同時不況の影響を受けるかたちで2008年Ⅳ期から急激に悪化しており、2009年第Ⅰ期を底とした改善傾向が見られるものの予断を許さない状況です。



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値



業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

(図17 景況感、業績、雇用の各DIの推移)

資料：(財) 三重県産業支援センター「景況調査」

## 9. 主要経済指標

(表10 主な経済指標の動き)

項目 年・月	景気動向指数 【Ci】(H17=100)		鉱工業 生産指数		大型小売店販売額 (既存店調整値)		自動車(新車) 登録台数		新設住宅 着工戸数	
	先行系列	一致系列	H17=100	対前月比	(百万円)	前年同月	(台)	前年同月	(戸)	前年同月
H18年	—	—	105.6	5.6	262,959	▲ 0.9	70,118	▲ 7.0	20,009	26.4
H19年	—	—	113.2	7.2	256,508	0.4	65,290	▲ 6.9	17,128	▲ 14.4
H20年 <sup>P</sup>	—	—	111.5	▲ 1.6	258,278	▲ 1.9	61,753	▲ 5.4	18,016	5.2
H21年	—	—			245,602	▲ 7.7	56,135	▲ 9.1	11,420	▲ 36.6
H20年10月	81.9	73.2	111.1	0.3	20,714	▲ 2.1	4,794	▲ 11.4	1,458	▲ 0.2
11月	75.5	61.7	102.0	▲ 8.2	21,974	▲ 6.5	4,117	▲ 29.4	1,257	▲ 31.8
12月	78.9	52.8	101.4	▲ 0.6	23,723	▲ 6.5	3,515	▲ 19.4	1,387	▲ 22.0
H21年1月	74.7	43.5	89.2	▲ 12.0	24,569	▲ 5.4	3,571	▲ 26.7	1,172	▲ 28.1
2月	72.6	37.7	78.6	▲ 11.9	19,046	▲ 7.6	4,427	▲ 32.7	956	▲ 12.8
3月	71.8	35.9	79.4	1.0	19,062	▲ 10.9	6,022	▲ 32.8	957	▲ 26.9
4月	74.1	40.0	85.7	7.9	20,240	▲ 8.6	3,235	▲ 29.2	1,144	▲ 34.5
5月	80.9	39.2	82.5	▲ 3.7	19,943	▲ 8.8	3,319	▲ 17.5	791	▲ 43.7
6月	81.5	43.4	88.3	7.0	20,422	▲ 7.6	4,580	▲ 13.7	1,030	▲ 42.3
7月	89.4	47.2	96.0	8.7	20,851	▲ 8.6	5,183	▲ 7.7	1,089	▲ 31.9
8月	86.9	45.4	91.0	▲ 5.2	20,425	▲ 8.8	3,515	▲ 3.6	737	▲ 55.0
9月	84.2	48.8	91.0	0.0	18,820	▲ 5.5	6,027	4.7	817	▲ 52.1
10月	92.2	49.1	94.1	3.4	19,380	▲ 7.1	5,399	12.6	1,024	▲ 29.8
11月	95.3	52.5	96.2	2.2	19,714	▲ 10.9	5,602	36.1	760	▲ 39.5
12月	91.0	60.1	101.9	5.9	23,130	▲ 3.1	5,255	49.5	943	▲ 32.0

項目 年・月	消費者物価指数 (4市平均・総合)		所定外労働時間 指数(5人以上)		常用雇用指数 (5人以上)		有効求人 倍率 (倍)	企業倒産 (負債総額1千万円以上)		
	H17=100	対前月比	H17=100	前年同月	H17=100	前年同月		件数 (件)	負債総額 (百万円)	前年同月
H18年	100.3	0.3	104.1	4.1	104.7	4.7	1.42	134	44,121	▲ 69.8
H19年	100.8	0.5	101.7	▲ 2.4	106.7	1.9	1.40	144	27,840	▲ 36.9
H20年 <sup>P</sup>	102.4	1.6	90.1	▲ 11.4	108.2	1.4	1.15	136	60,224	116.3
H21年			72.4	▲ 19.6	107.0	▲ 1.1	0.45	140	34,755	▲ 42.3
H20年10月	103.5	▲ 0.1	82.5	▲ 15.6	108.0	0.7	0.96	13	4,084	106.4
11月	102.7	▲ 0.8	84.6	▲ 15.8	108.0	0.9	0.91	18	22,640	416.1
12月	102.3	▲ 0.4	77.1	▲ 25.4	108.9	1.2	0.83	7	1,915	▲ 13.7
H21年1月	101.6	▲ 0.7	64.9	▲ 26.9	108.1	0.2	0.66	7	9,259	492.0
2月	101.4	▲ 0.2	60.5	▲ 37.4	106.9	0.4	0.55	13	2,493	▲ 73.0
3月	101.8	0.4	60.5	▲ 42.0	106.7	▲ 0.2	0.46	15	1,787	▲ 68.4
4月	101.9	0.1	64.9	▲ 33.3	108.0	▲ 0.3	0.44	15	1,948	▲ 7.2
5月	101.8	▲ 0.1	61.4	▲ 33.2	106.9	▲ 1.9	0.41	7	847	▲ 41.5
6月	101.6	▲ 0.2	66.7	▲ 31.4	106.8	▲ 2.0	0.40	17	3,681	▲ 7.7
7月	100.9	▲ 0.7	73.7	▲ 17.7	106.9	▲ 1.7	0.40	8	1,590	▲ 35.5
8月	101.5	0.6	77.2	▲ 8.3	106.5	▲ 2.1	0.41	11	3,996	26.6
9月	101.6	0.1	80.7	▲ 7.2	106.6	▲ 1.5	0.41	17	3,924	100.3
10月	101.0	▲ 0.6	80.7	▲ 2.2	106.1	▲ 1.8	0.41	12	1,937	▲ 52.6
11月	100.7	▲ 0.3	87.7	3.7	106.9	▲ 1.0	0.42	10	2,263	▲ 90.0
12月	100.6	▲ 0.1	89.5	16.1	107.3	▲ 1.5	0.43	8	1,030	▲ 46.2

資料：政策部「三重県の主要経済指標」